

帯広病院 21-4111
 柳町医院 30-3111
 白樺医院 38-3500
 ケアセンター白樺 41-1165

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

快適で安心して
療養できる病棟へ

帯広病院新築棟完成

内視鏡室の リニューアルも完成

現在、病院の増改築工事が行われています。かなりの工事の音が病院に響き渡っており、入院患者さん、外来患者さんには迷惑をかけていると思います。この暑い中、一二月の完成を目指し工事業業者の方々も一生懸命作業して下さっています。

して利用し、壁は今までどこか寂しい白壁から薄いピンク色へ、電気も青白い蛍光色から温かみのある温暖色へ変わり、患者さんの一人あたりの環境スペースも以前より広くなりました。入室された患者さんや家族の方々は、なかなかの好評で、看護師も患者さんの両サイドにスペースができたので、病室は生活、治療の両方の場であ



吹き抜けがあり明るいデイルーム

り、入院環境を整える事はまず治療の第一歩だと思います。車椅子を利用される患者さんも多く、現在は車椅子で利用できるトイレが病棟に一つしかなく、トイレの前に車椅子に乗った患者さんが二、三人並んで待っている事があります。便座の高さも低く、膝や腰が痛い患者さんにはつらく、トイレ内のナースコールも手の力のない高齢者や、リウマチの患者さんにとっては使用しにくい物で、介助する看護師やヘルパーにとっても手すりや体にぶつかったりと介助しづらいものでした。車椅子でも安心して移動できる廊下、使用しやすいトイレ、洗面所、浴槽の完成を心待ちにしています。

病棟看護師主任
安藤 留美



患者さんが安全に入浴できるようになった浴室



広くなり利用しやすくなったトイレ



完成した新築棟



ピンクの壁紙で明るくなった病室



新しくなり広くなった内視鏡室

聴診器

六月二十六日、NHK朝のニュースの中で、「今若者が読む『蟹工船』」が読者の理由は「共感する理由は」というのが一定の時間を割いて特集された▲「おい地獄さ行くんだで！」

で始まり、「そして、彼等は、立ち上がった——もう一度！」で終わる小林多喜二の「蟹工船」が、何故、若者の中に、「蟹工船ブーム」を引き起こしているのか……▲番組の中で登場し、発言した若者達には、共通点があった。それは「この小説は、曾祖父や曾祖母の時代の昔話だが、根本的には、今でも何も変わっていないのではないか。上流階級と下流階級・勝ち組と負け組・正規社員と非正規社員……」という認識にたどりつき、だから今、何をなすべきなのか、と模索はじめている姿のなかに▲小林多喜二「蟹工船」青年エッセイコンテストで、ネットカフェ部門の奨励賞に選ばれた「ネットカフェ住人」の綴った文章に、次の一節がある▲『一日中働いて／何で僕たちは貧しいのだろう／書けるような住所は／ない／書けるような職場も／ない／あと何十年も／この暮らしを／続けていく自信は／ない』▲このように、明日を担うべき若者が、未来を展望できない社会を、いつまでも持続させていいわけがない。

(高)

第8回 反核平和自転車リレー

戦争核兵器のない世界へ!!



足寄友の会からのお出迎え



土幌友の会からのお出迎え



音更西友の会からのお出迎え



沿線の友の会から60名の方がお出迎え



開会宣言を行う岡山実行委員長



一緒に走行する陸別友の会のみなさん



今回最大の難所に挑む参加者達

今年も六月二十八日(土)から二十九日(日)の日程で十勝反核平和自転車リレーが開催されました。今年も天候に恵まれた中での開催でした。陸別友の会にお出迎えして頂き、最初のコースを一緒に走行して、まずは足寄に向かいました。最初に立ち寄った足寄友の会では昼食をご馳走になり、参加者一同鋭気を養って午後

の交流会では各班に分かれて、平和に関するクイズの答え合わせや平和に関する思い出をテーマにゲームを行い、大変盛り上がりしました。山の湯温泉を出発し二日目がスタート、土幌の道の駅では土幌友の会の歓迎を受けました。音更では各友の会の地域を回り、歓迎や

差し入れを頂きました。音更西友の会が行っていた焼き肉交流会にお招き頂きました。また、音更北友の会からの差し入れのお肉もいただき、元気いっぱいになったところで残りの帯広病院までを走りました。今年も楽しく、心地よい汗を流しながら平和を訴えたこの企画も友の会の皆様の協力があったからこそ大変感謝しております。来年はどのコースになるかはまだ決めていませんが、来年度以降も引き続きご協力お願いいたします。

(反核平和自転車リレー 実行委員長 岡山 和也)

原水爆禁止世界大会(広島)

2008年8月3日~8月7日

3人の代表派遣決定!

帯広病院
前川みゆき
(看護師)帯広病院
山下 真代
(看護師)ケアセンター白樺
笠野健一郎
(介護福祉士)

あいさつを行う新会長の加藤さん

六月二一日(土)午後三時から、白樺病院で「ひまわりの会」(*帯広病院に通院中のリウマチ患者さんの会)の総会が、職員を含め総勢二五名(うち患者さん一八名)の参加で開かれました。

帯広病院では、今年は特に(慢性)疾患管理に力を入れようと、久しぶりに、疾患別(糖尿病、リウマチ)や耳鼻科のチームを立ち上げました。その中で、リウマチグループ(職員八名で構成)の再開に伴ない、二〇〇

四年以来開催されていなかった「ひまわりの会」の総会が企画されました。総会では、開会挨拶の後、会則の改定についての提案があり、〇八年度の役員を全員一致で確認し、新しく会長になった加藤登美子さんから、「リウマチの辛さは人によりいろいろありますが、それを気軽に言い合える仲間になりたい。この会で話をすると、家に帰ってから元気がでる。この会があったことで、私はリウマチになって二〇年以上になるが、同じ病気の友達がたくさん出来て良かった。」と挨拶されました。また、他の会員の方からは、「今までは痛くて引込み思案だったが、外に出る機会を作らなくちゃだめだと思っ

みんなと頑張っていきたい。」と話されていました。総会後の茶話会も含めて、約二時間ほどの会でしたが、リウマチの慢性的な痛み、体を動かすことの不便さ、薬を飲むことの不安など、同じ病気を持つ患者さん同士の話しが大事なことでとわかっていました。リウマチグループ職員全員、少しでも皆さんのお役に立てるよう努力し、痛みを忘れてしまいうくらい楽しい企画をたくさん考えていこうと思っています。

(リウマチグループ 山崎 真嗣)

帯広病院

ひまわりの会
リウマチ患者さんの会

シリーズ⑦

出張健診
病院22年の歩みを振り返る帯広病院検査技師
栗山 秀樹

今から一七年前の一九九一年(平成三年)、帯広から遠く離れた地域の人も気軽に検診が受けられるようにと取り組まれた、胃カメラと超音波の出張検診、記念すべき第一回は三月一七日の大樹町で行われました。浅沼建樹

を団長に看護師、検査技師、事務員などで構成する検診チームは、公用車に胃カメラ、光源装置、ポータブル型の超音波画像診断装置などの機材を乗せて、前日のうちに現地へ赴き、夕刻会場の福祉センターに到着、事前の準備をすませ、当日は

朝八時から検診をスタートしました。友の会員さんら二三名が次々に超音波検査と胃カメラ検査を受けました。この検診は健康保険がきかないため、四千元(当時)の負担になりますが、「帯広まで行く」と比べて安いもの。ほとんど待たずに二つの検査が出来た」と好評。初めての取り組みでしたが、地元友の会・世話人さんにいろいろとご協力をいただき、成功にお



出張健診で胃カメラを行う浅沼理事長

帯広病院 院長 **深 町 知 博**



三年前の腰痛発作は過去最大級でした。それまでは、何とか自宅で四、五日安静にして寝ていれば腰の痛みは、徐々に回復していました。ただ、冷静に考えてみると、年をとるとともに、症状の悪化傾向は確かにありました。

微動だにできなくなつてしまつたのです。(その苦渋の父親の姿を見て泣いてしまつた娘(当時五才)がいとおいしい。)

「すいません。いつも、お世話になつてゐる(?)。勤医協の深町ですが、自宅に救急車を一台お願いできますか?患者は全く動くことができないのでよろしく。それと、近所迷惑になるから、家に近づいたら、サイレンを止めて来て下さいね。」今まで、何度も患者さんに付き添つて救急車に同乗してきましたが、自分が主役(?)で乗るのは生まれて初めて。しかし、感心したのは、ペランダから、比較的物々しく入つてきた救急隊員が、私が

介護の仕事に就きたい 職場体験学習



毎年、六月になると小学校では総合的学習の一年として施設見学、中学校・高校では「職場体験学習」が実施されます。ケアセンター白樺でも年間五〇名以上の学生を積

極的に受け入れています。体験学習は、利用者さんとの触れ合いの中で、「ありがとう」の言葉を交わしたり、自然な笑顔がでたり、お互いがあたたかい気持ちになる時間です。この間、体験実習にきた学生さんから手紙が届きましたので、一部ご紹介致します。

利用者さんが「〇〇ちゃんなら立派な介護士になれる。一人前になつて戻ってくるまで長生きして待つているよ。」と言つ

て下さって本当に嬉しい気持ちになりました。大変さもわかったけど、実習前よりも強く介護の仕事に就きたいと思いました……。

いま介護現場での深刻な担い手不足が大きな社会問題になっています。体験した多くの学生達の夢や願いを叶えるためにも、介護現場で働く職員誰もが専門性を高め生き生きと働き続けられる環境整備が待ったなしの課題です。職員・地域・共同組織の方々とともに大きな介護ウェーブのうねりを起こしましょう!!

(ケアセンター)白樺
副施設長 真田 若子)

（ケアセンター白樺
副施設長 真田 若子）

お問い合わせは、
（白樺医院 三八―三五
〇〇 高田まで）

んだ時には、生まれて初めて、ベット上で排尿。
(尿瓶はなかったのだ、

でした。)、そういう事情であれば、腰にブロック注射をしてみるから来る

ないことを伝えると、タン力を椅子型に変形させ、タン力を縦に立てて、そ

ダイイチ

健康チエツク

かけましたら、気軽に声をかけてください。

(実施日毎月第一木曜
日午後二時～三時)

※体制の都合で日程の変更・中止になる場合がありますので、ご了承ください。

つと複雑な気分で夜空を見上げながら救急車へ移動したのでした。

白樺医院では二〇二一年から地域保健活動の一環として、ダイイチ白樺店の一部をお借りして、月一回体脂肪・血圧測定等の無料健康チェックを行っています。開院の年から行っている健康チェックは、八六回のべ一七四七人の健康チェックを行いました（〇八年七月



す。この原稿のシリーズを書き始めてから、当時のダイエット記録（体重、体脂肪率、腹囲がある程度定期的に計っていました。）を探してみました。どうも妻が捨てたようでした。（多分他意はないと思います。）

悲劇

しかし、このダイエット

ました。そして、多分、その日かその翌日に、部屋で一人で寝そべっていて、起き上がろうとしたその瞬間、ギクツときて

そして、三年後（二〇〇五年）の「もちつき後骨盤ずり落ち型腰痛発作」

救急車へ

初乗り？



ツクは、八六回のべ一七
四七人の健康チェックを
行いました（〇八年七月
現在）。お買い物途中に気
軽に受けられると好評で
す。血圧が高く、その後
受診した利用者もすくな
くありません。健康診断
のお誘いも積極的に行つ
ています。ぜひ、ダイイ
チ白樺店でお買い物中見



健康チェックを行う職員

帯広病院
胃カメラ特診のご案内

9月7日(日) 予約制(午前中)

ご希望の方は帯広病院へお電話下さい。

TEL 2 1 - 4 1 1 1

次の口に入る数字の合計はいくつになるでしょうか？

- ①空いているマスに1から9までの異なる数字をいれます。
②タテ列、ヨコ列、太枠で囲まれた3×3のブロック（9マスあるブロックが9つある）どれにも1から9までの異なる数字が入ります。

出題者は石谷 重直さん（陸別町）です。

5	4			3		6		8
	7		1	4			2	
		1		5	6	7		3
8		9	5			4		2
6	5			2	1		9	7
7		3		9	4	8		
2		8	4			5		9
	3				2		7	
	9	7	3	6			8	4

答 え □+□の数字をハガキに記入して送ってください。

頭の体操

【応募方法】

解答とお名前、住所、電話番号をハガキか電子メールで、左記へお送りください。

【宛 先】

○郵送

〒〇八〇〇〇一九

帯広市西九条南十一丁目

十勝勤医協会館内

友の会ニュース編集部

○電子メール

soshiki@tokachi-kin-

ikyoor.jp

【賞 品】

抽選で一〇名の方に、千円分の図書カードをお送りします。

【締め切り】

八月二〇日（当日消印有効）。発表は第二九三号（二〇月号）紙上です。

【第二八九号の当選者】

答えは

「水無月」でした。

応募総数八三通、正解者八三通の中から抽選により、次の一〇名の方が当選しました。

中川恵里子、向井君子、

嶋田禎子、吉田節子、泉

伸彦、飯田史子（以上帯

広市）、酒井志津子（音

更町）、西村千代子（幕

別町）、渡辺美奈子（豊

頃町）、西山洋子（芽室町）

※頭の体操の問題を募集

しています。採用の際

には、図書カードを贈

呈します。

ブロック世話人会議

地域から信頼される友の会活動へ



大樹会場で行われた会議の様子

地域に根ざし、地域住民から信頼される友の会活動を進め、各地域友の会と友の会連絡会の日常的な連携強化を目的に、連絡会総会後、毎年ブロック世話人会議を行っています。

今月二日、市内会場を皮切りに九会場（町村六・市内四）で行われ、昨年

より四七人多い一三〇人の世話人さんが参加しました。会議では、友の会総会の方針や、当面の取り組み、十勝勤医協からの報告などについて意見交換を行いました。

当面の取り組みでは、各友の会における年間目標の確定や不明会員の扱いなどについて話し合いました。

また、十勝勤医協から、帯広病院のリニューアルの進捗状況や新たに始まる白樺デイサービスセンターなどについて報告がありました。

十勝勤医協への要望も出され、「今年も、大腸ガン検診を行ってほしい」、「普段、白樺医院を受診



市内（勤医協会館）で行われた会議

友の会連絡会コーナー

生き生き広場

メタボリック症候群って何？

西南友の会



健康審査受診券などによる受診期日や内容については理解されていないように思われました。

（西南友の会 田所 豊之

学びの多い総会に

西帯広友の会



七月一日、夕食会、学習会を兼ねての総会を行いました。一三名の参加で、友の会としてのこれからの活動目標を掲げ、新役員と会員の二人三脚で出発することになりました。

食事会の前には、ケアセンター白樺から二名の職員に来ていただき、血圧測定を実施し、あらためて健康でいられることに感謝したところです。

学習会では、事務局の

石沢さん、帯広市議の稲

葉さんから後期高齢者医

療制度のこれまでの経過

説明、帯広市の取り組み、

特に高齢者の医療へのあ

り方、健康を守る行政の

実態等、詳しい説明を受

け、大いに納得しました。

又、老人介護と家族のあ

り方も話題となりました。

いかに健康を守り、生活

医療相談会のお知らせ

健診結果の見方や、高血圧・糖尿病などの病気の話について、医師や栄養士などと相談できます。

参加は自由です。どうぞお気軽にご参加下さい。

（※健診結果などの資料がある方は、当日お持ち下さい。）

【年間予定】	9月4日（木）	担当医師：深町 知博
	11月6日（木）	担当医師：木村 孝
	1月8日（木）	担当医師：館野 知己
	3月5日（木）	担当医師：瀬川 高志
【時間】	14時30分～	
【場所】	十勝勤医協帯広病院 会議室（帯広市西9条南12丁目4番地）	

ご不明な点は外来事務の三浦までご連絡下さい

（代表） ☎ 0155-21-4111

読者の声

来年！では！

長谷川アキさん（幕別町）
浦幌町に住んでいた時、「健康まつりに行きたいね」と話していたのに、帯広の近くに暮らすようになって、今年こそ今年こそと思いつつ実現できないでいます。第一九回健康まつりが、盛大であった様子を友の会ニュースで拝見して、来年こそ参加しようと思ひにしています。

佐藤 セツさん（帯広市）
最近のニュースを見てみると、老人はいくら慎ましい生活をしているのか本当にわかっていないのか疑問に思います。根っこの部分は同じだと感じますが、テレビや新聞ではお互いの足を引っ張っている様に思います。後期高齢者がいるから今の暮らしが出来るのではないのでしょうか。その人々が不安と怒りの生活をしているのを表面だけ見ず隅々迄みて回って、自分達の足で歩いて現状をもっともつと肌で感じてほしいと思います。机の前で書類を見ていてはわかりません。

を守るために一人一人が疑問を持ち、知恵をつけること、「相談」の大切さ

を学び散会となりました。（西帯広友の会 佐々木義徳）

今の現状を感じて！！